

第59号 奈良パンジーの会

令和4年9月 発行

パンジー通信



ホームページ

<https://www.pansy-nara.net/>



フェイスブック

<https://m.facebook.com/pansynokainara/>



ツイッター

https://twitter.com/pansy_nara_ld/

パンジーの会は、LD及びADHD、アスペルガー症候群、高機能自閉症、軽度知的障害など、発達障害児（者）の親・本人の会です。

パンジー通信五十九号 目次

- ・全国LD親の会 近畿ブロック会議 R4.7.10 2～5
- ・パンジーの会総会・全体交流会 6
- ・運営部 活動報告 7～8
- ・プロ野球観戦報告 8
- ・運営部 勉強会報告 9～10
- ・パンジー各部活動報告
運営部・小中高部・アド部（高卒相当以上）
ピアカン、土曜会各部 11～12



皆様 こんにちは。パンジー代表の入船です。

全国LD親の会では、これまで研修会は年1回総会と同時に行うものとLD学会でその時の大会テーマに沿ったものを2回行っていました。

コロナ禍でZoomを活用できた経験から、今年はもっと会員に寄りそうオンライン研修会をほぼ毎月出来るように開催しています。

7月は日詰先生の「障害者年金と障害者手帳について」参加:65名

9月は笹森先生の「インクルーシブ教育システムと合理的配慮」参加:87名

10月は、近畿ブロック主催「発達障害と不登校・ひきこもりについて（鳥取モデルを参考に）」という風に、毎月のように企画されています。

スマホからも十分見られますので、皆さんも是非参加してみてください

パンジーの会の会員相互はもとより、より多くの発達障害児・者を持つ親の方々の輪をこれからも広げていきましょう。

近畿ブロック会議報告

開催形式 Zoom (オンライン開催)

開催日時 2022 年 7 月 10 日 (日) 13:00~17:00

出席者 当番会 トムソーヤ (高畑)

おたふく会 (石本)、翼 (樋口・檜本)、たつの子 (清水・神園)、明日葉 (三戸・山口・高畑)、らっきょうの花 (齊藤)、パンジー (小西・中野)、はあとりんく (石原・田中)、sky (岡尾)、(理事長・副理事・評議員) 井上、栗野、武政、吉田 計 19 名参加・欠席なし

【議題】

I. 第34回NPO法人全国LD親の会評議員会報告

1. 組織運営に関する審議

①第15回総会

- ・出席:36名 (会場参加1名・議決権行使28名・委任状提出7名) 欠席:1名
- ・担当:関東・東北ブロック 埼玉 麦

②第16回総会

- ・日時:2023 年 6 月 17 日 (土) 総会・18 日 (日) 公開フォーラム予定
- ・会場開催・翌日公開フォーラムの従来の形式で開催
- ・担当:東海・北陸ブロック→富山県総合福祉会館 (サンシップとやま) で開催予定

③第17回総会

- ・担当会:北海道ブロックで検討

④2022年度会費請求について

⑤会員登録簿について (全国会員名簿から変更)

- ・会報送付等会員登録簿が必要な場合は、事務局へ送付依頼
- ・申請書フォーム:7/12 お知らせ済 (4【お知らせ】正会員登録データの送付申請について)

⑥全国から各会へのメール連絡の流れ

- ・全国LD親の会事務局から各会へのメール連絡をすべて各会宛て送信に変更する。
- ・詳細案内:6/25 評議員より送信済
(至急のお知らせとお願い…各会・ブロック・全国間の連絡経路見直しについて)
- ・変更開始のお知らせ:7/8 送信済 (1【お知らせ】全国LD親の会から各会へのメール配信開始)

⑦全国LD親の会事務局メールについて

- 「ブラストメール Light プラン」を契約しスタート

⑧2022年度構成調査提出手続について

⑨全国LD親の会会員制度について

2. 事業実施に関する審議

(1) LD等の発達障害に関する研究事業

①一般社団法人日本LD学会

【第31回大会 (京都)】

- ・2022 年 10 月 29 日 (土) - 30 日 (日) 京都教育大学 会場:京都国際会館+Web

- ・親の会企画シンポジウム:自己肯定感をはぐくむ
～子どもと親が育ち合っていくために～

【第 32 回大会(広島)】

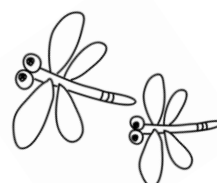
- ・2023 年 10 月 8 日(日) - 9 日(月・祝) 広島大学 会場:広島国際会議場
- ②「発達障害のある人への就労移行支援における新型コロナの影響」Web アンケート
 - ・対象:全国LD親の会の会員のうち、高校生、大学生、26歳程度までの会員。こども本人への調査。
 - ・調査期間:2022年7月17日開始 ・9月19日締め切り
 - ・分析結果は「第21回公開フォーラム(2022年11月13日実施)」にて発表
- ③「我が家のギガスクール」Webアンケート
 - ・対象:小学生、中学生の保護者および子ども ・調査期間:2022年12月から2月頃

(2)LD等の発達障害に関する理解啓発事業

- ①会報「かけはし」95号:10月中旬発行
- ②第 21 回公開フォーラム
 - ・日時:2022 年 11 月 13 日(日) 10:20~16:10 ・場所:さいたま市内会場
 - ・開催方法:オンデマンド配信+Zoom ウェビナーによるライブ配信
 - ・テーマ:発達障害がある人の教育から就業への移行~コロナ禍における変化~
 - ・参加費:会員 1,000 円 一般 1500 円 定員:90 名
- ③2022年度特別支援教育支援員養成ビデオ講座
 - ・定員100名:7/18の申込受付締切日を待たずして定員となり締め切り
 - ・初の試み:すべての講座終了2週間後辺りで、山田先生をお招きし参加者交流会を実施(オンライン)
- ④全国HP ⑤ブログ ⑥理解啓発冊子販売事業(収益事業):3巻目「生きる力を育てる」編集

(3)LD等の発達障害のある人及び家族等の支援事業

- ①空白県対応 ②親の会設立支援(今後の設立支援方法検討)
- ③2022 年度学習会
 - ・全国会員テーマ別学習会(zoom 行政勉強会)
 - 厚生労働省関係:日詰正文先生
 - 第1回:7 月 10 日(日)午前 10:00~12:00
 - 「障害者年金と障害者手帳について」参加:65 名
 - 第2回:9 月 11 日(日) 午後 1:00~3:00
 - 「合理的配慮と授業のユニバーサルデザイン」
 - 第3回:11 月 27 日(日)
 - 「放課後デイサービスの質的向上について・不登校について(仮題)」
 - 文部科学省関係:笹森洋樹先生
 - 第4回:1 月 22 日(日) 時間未定
 - 「自閉症・情緒障害特別支援学級と通級による指導」



④ 全国会員交流会

- ・子どもの年齢別会員交流会
- ・青年交流会

今後の総会がオンラインになっていく方向の中での全国青年交流会の在り方
「現地集合」と「オンライン」では参加メンバーが分かれる
→「現地集合」と「オンライン」の両方を継続的に開催していく事も検討中

⑤ 各会役員情報交換(オンライン)

- ・各会の役員が気軽に活動について相談したり情報交換できる「役員交流会」を定期的に開催。
- ・2カ月に一度、偶数月 8・10・12・2 月に開催
- ・申込み不要、当日、あらかじめ案内される URL から参加。参加したい人だけが参加。
- ・第1回役員交流会:8/27
昼の部(13:00~15:00)・夜の部(19:00~21:00)の2回開催。

⑥ 各会からの会報 ⑦ 各ブロックからの報告

(4) LD等の発達障害のある人に対する支援・制度の充実に向けた活動事業

- ① 2023 年度予算要望 (評議員会資料 10,11)
- ② 文部科学省関連 ③ JDDnet関連 ④ 日本障害者協議会 ⑤ 全国特別支援教育推進連盟

II. 近畿ブロック確認事項

1 近畿ブロックの決算と予算について→承認

2 近畿ブロック体制について

- ・R4 年度近畿ブロック当番表(評議員・会議当番・会計)
会計担当会(令和 5~6 年度)決定→「明日葉」
- ・R4 年度近畿ブロック担当者名簿・会報発送先
→ 会報はすべてPDF送信の為発送先の住所削除

3 2022 年度近畿ブロック研修会について

日時: 2022 年 10 月 1 (土) Zoom 開催 担当: らっきょうの花

講師: 原田 豊先生(鳥取県立精神保健福祉士センター所長)

山本 恵子氏(鳥取ひきこもり生活支援センター所長)

テーマ: 不登校、引きこもり について

対象: 会員および一般 会費: 会員無料、一般 1000 円

<確認事項>

- ・当日の流れ → 時間: 13:00~16:00 講演会+座談会
- ・案内について → 担当会「らっきょうの花」がチラシ作成
- ・会費徴収方法(一般参加者について) → 複数案を検討中
(案1) 各会で取りまとめ(各会の口座振り込み)
(案2) 「こくちーず」や「peatix」などのイベント開催時の情報提供サイトを利用

4 2022 年度近畿ブロック青年つどいの会及び全国会員交流会について

近畿ブロック青年つどいの会

- ・担当会: たつの子
- ・今年度の開催も中止
- ・次年度は、全国の「青年交流会」の開催状況を参考に開催方法を検討

5 全国 LD 親の会会員制度について

- ・各会で意見交換

全国LD親の会個人正会員の設定について

- ・議決権があるのは問題。
- ・個人正会員に流れる人が多いかもと不安はある。
- ・地域の情報が欲しい人が多いので、流れる事はない。
- ・個人正会員で「親の会」に入れるメリットがある。そこから、地域に戻ってみようかとなる可能性もある。
- ・地域での特典は全国にはない。加入を皮切りに各地の活動を知るきっかけとなる可能性も。
- ・悩みは話したいが家を出る事の出来ない人にはいいのではないか。
- ・情報だけ欲しくて入って来る人は多いか? 流れる人もいような気がする。個人正会員ではなく、全国に加盟していて良かったなという方向に持って行ける様、交流会・魅力的な催しをアピールしていきたい。
- ・全国に地域の人が入会したら、各地域の親の会を紹介して欲しい。
- ・地域で入会の方がいいが全国であればオンラインで相談できる所は良い。自会の弱みは専門の先生と繋がっていない事。先生に相談したくても繋がられない。

専門的知見を知りたい人が全国にやり取りできるなら、設定もありか。

個人準会員の規定変更について

- ・地域に入っていく可能性のある人限定なら。

新しい会員区分(通信会員等)の新設について

- ・親の会への入会はためらう人も、何処かで繋がってほしい人もいる。そんな人にいいのでは?
- ・そこで地域の親の会の存在を知り、入会のきっかけになる可能性もあるのではないか。

Ⅲ. その他

- ・各会の活動報告
- ・次回近畿ブロック会議

日時: 2023 年 3 月 5 日(日) 13:00 ~ 17:00

開催方法: Zoom (オンライン開催) 当番: はあとりんく



パンジーの会

 パンジーの会総会・全体交流会

5月22日(日)1時半からあすなら苑大会議室にて総会を開催しました。14名が参加、委任状を9名からいただき、総会は無事終了しました。今年も昨年同様、年会費を3200円とし、新会員も同様とすること、土曜会児童部会員がいないため、土曜会活動費が残っているため今年度は会費をなしとすることを審議し了承を得ました。

総会後は、全体交流会を行いました。今月より、小中高部に2名が入会し、全体交流会に参加してくだり、イオンのレシートキャンペーンでいただいたお菓子や飲み物をいただきながら、お互いの子どもたちの近況を報告したり、子育ての悩みを打ち明けたり、新会員さんへ自己紹介をしたり、また新会員からお話を聞いたり。2時間半ゆっくりをお話しをすることができました。

会員同士、顔を合わせて話しをすることで、自分の子育ての振り返りや、子どもへの対応の仕方や向き合い方の参考になったり、子どもに対する親としての気持ちの持ちようを考え直すよい機会となりました。また、こどもがどんな年代になっても子育ての悩みは尽きず、みんな自分と同じように頑張ってるんだな、自分だけじゃないんだな・・・、といった気持ちになり、元気をもらえました。

今年は全体交流会やランチ会などの回数を増やし、会員同士が会って話しができる機会を多くしていこう、と考えています。



 8月全体交流会

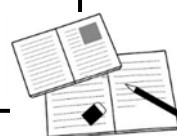
8月28日(日)13時30分から、あすなら苑大会議室にて全体交流会を開催しました。出席者は6名でした。お菓子やデザート、飲み物をいただきながら、こどもの就労、年金受給、精神科の受診、本人のこだわりなど、様々な悩みを、会員同士、アドバイスや経験談を話しあい、今後の子どもとの向き合い方の参考にしたり、自身の心の持ちようを変えてみようとしたりと、話すことで少しずつ気持ちが楽になっていきます。実際に会って顔を合わせて話すことの大切さを感じたひとときでした。

今後、パンジー通信の配布先を検討していこう、という話しにもなりましたので、次回、役員会で検討したいと思っています。

次回の全体交流会は11月20日(日)の予定です。ぜひご参加ください。

運営部

運営部活動報告



① 全国 LD 親の会総会

6 月 12 日に ZOOM による総会が開催され出席しました。

総会では全国 LD 親の会の活動報告、会計報告があり、その後、さまざまな案件の報告がありました。(詳細は近畿ブロック会議報告をご覧ください)

今年度から各会の役員同士が気軽に相談しあえるような取り組みや、行政等の勉強会の開催など検討してくださるとのこと、大変楽しみです。

② 発達障害者支援センターでいあー連絡協議会

6 月 29 日に奈良社会福祉センターにて開催されました会議に出席しました。発達障害者支援センターでいあーからの昨年度の報告などの後、各公的機関、支援機関、自閉症協会などの親の会が発達障害の人へ支援に関する現状の報告を行いました。当会からは、全国 LD 親の会からの出版物のお知らせと、学齢期は手厚く過ごしやすい環境が整いつつあるが、就労になると厳しい現状があり定着が難しいことを伝えさせていただきました。

③ 奈良県発達障害者支援地域協議会 7 月 21 日 (木)

開催場所：奈良県心身障害者福祉センター

出席者：会長 太田教授（奈良県立医科大学） 櫻井関西福祉大学教授
ポップコーン、自閉症協会、手をつなぐ育成会、アスカ、でいあー、奈良県労働局、奈良県障害者職業センター、奈良県総合リハセン、奈良県障害福祉課 ほか関係団体

【議題】

1. 奈良県障害者支援センター「でいあー」の現況（上記同様）
2. 発達障害児医学的療育支援事業について
新たな取り組み：公認心理師の配属、基礎・応用研修会の開催
3. 奈良県発達障がい者就労支援について
企業への協力支援では、70%が「定着支援」52件
経済産業省「ニューロダイバーシティ」への取り組み
「働くセミナー」開催
4. 令和4年度 発達障害児者にかかる県施策（予算案）
5. 各会意見
 - ・与えられる予算だけでなくファンド予算を企画して欲しい
 - ・ファンド予算案としては、データ整備予算を企画して欲しい

- ・現状の各会の動きは、発達障がい児・者の個別対応のデータがバラバラに管理されていて、横連携が出来にくい状態となっている。医療データに基づく「作業療法支援」「理学療法支援」「心理師支援」教育データにもとづく「不登校・引きこもり支援」「就労支援」など無限に効率化と適正化が図られる。各会の所属データ、相談受付データ、教育支援データ、就労支援データ、年金データ、さらには医療データを一元化することで支援者も指導・支援・アドバイスもやりやすく効率よく当事者を二次障害の発生などを少なくできる。

④ ならサポートワークラボ第7回通常総会 5月25日（水）

5月25日（水）18時より 西大寺にあります、ならサポートワークラボの総会に出席しました。理事長の小島さんや奥様、ハローワークや奈良労働局の方などがご出席されており、令和4年度の総会が開催されました。

就労移行も順調にされているようですが、やはりそれより前段階の生活支援の相談が多く、引きこもり支援や生活リズムの安定の支援などの多様な支援の必要性があるとおっしゃっておられました。

また、個人的に就労移行に相談があったので、施設の見学や相談をさせていただきました。パンジーの役員をさせてもらって色んな機会をいただけてとてもありがたいです。



～プロ野球観戦報告～

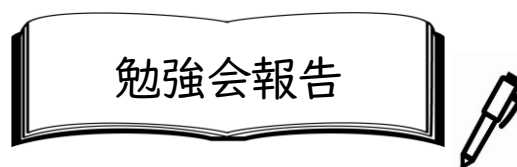
スポーツを「観る」機会を創出し関心を高めるとともに、スポーツを始めるきっかけとなるようにと、奈良県福祉医療部障害福祉課より、プロ野球年間シーズンシートチケットを毎年いただいています。

昨年はコロナ感染予防の為、チケットは使用しませんでした。今年は2家庭6名が京セラドームでオリックス戦を楽しみました。

会員からの感想・・・オリックス VS ソフトバンク戦に親子で行って来ました。こどもは久々の観戦で、オリックスが勝利して満足な様子でした。



運営部



① 全国LD親の会による会員向け行政勉強会

第1回「障害者年金と障害者手帳について」

講師：日吉 正文 先生（独立行政法人国立重度知的障害者総合施設のぞみの園事業企画局研究部部長、JDDnet 事務局長）

7 月 10 日(日)午前 10:00～12:00

障害者手帳と年金の種類や具体的な内容、申請方法などについてお話しいただきました。

障害者年金の申請には初診日の証明が必要ですが、医療機関のカルテ保存期間は法律上 5 年なので、証明が無い場合、第三者（友人、民生委員、学校の記録）による証明の手段もあります。

継続して通院・受診しておくことが大事ですが、それが困難な場合は、もしもの時のためにおくすり手帳・領収書など通院の記録や福祉サービスの利用など、手掛かりになるものを残しておくことも有効です。

障害者手帳については、福祉サービスの利用などに手帳所持が必須ではないことから、申請しないケースも増えています。一方で災害時の要支援者として自治体が把握するために、手帳交付登録名簿を手掛かりにした取り組みもあるそうです。

第2回「合理的配慮と授業のユニバーサルデザイン」

講師：笹森 洋樹 先生（国立特別支援教育総合研究所上席総括研究員）

9 月 11 日(日)午後 1:00～3:00

障害者権利条約に関する話題から、今年の 8 月に国連の障害者権利委員会による日本政府への審査で、政策の改善点について勧告があり、その中に障害児を分離した特別支援教育も含まれていました。この指摘により今後インクルーシブ教育の構築、実現に向けて進んでいくことが期待されます。

合理的配慮については、2016 年施行の障害者差別解消法で、提供の義務は公立学校のみ対象でしたが、2021 年 5 月の改正で、私立学校も対象になりました。まだ学校によって差があるのが現状です。

個別の指導計画など配慮の提供のプロセスについて、教師は診断名から検討するのではなく、子ども一人ひとりの特性を見たうえで、必要な支援を探していくこと、そして何より子供自身のニーズや気持ちを尊重して決める。子供の変化や成長とともに評価・見直しをして、次の配慮を検討していくことが大切だとおっしゃっていました。

また、ユニバーサルデザインに基づく「分かる」「できる」授業は、発達障害のある子供たちだけではなく、全ての子供たちにとって充実した学びの環境になると思いました。

② 全国LD親の会 近畿ブロック研修会 10 月 1 日(土) 13 時～16 時

「発達障害と不登校・ひきこもりについて」

講師:鳥取県立精神保健福祉センター所長 原田 豊先生

「心になに寄り添うということ」

講師:NPO 法人 鳥取青少年ピアサポート所長

とっとりひきこもり生活支援センター 代表 山本 恵子先生

ひきこもりについての定義やニートとの違い、ひきこもりになる原因などのお話の後、ひきこもりの人の中の発達障害を有する人についてお話ししていただきました。

感覚過敏、抽象概念の困難、反復で限定的な行動、多動性、衝動性、協調運動障害発達障害のある人など、発達障害を有する人は、対人関係や集団生活の中で適応に多くのエネルギーを使います。身体的疲労、精神的疲労が長期に続きエネルギーが低下して、また対人恐怖、集団恐怖があり強いダメージを受けた場合、不登校やひきこもりになります。エネルギーが低下するとどうなるかというと、車で例えるとガソリンがからっぽな状態。ガソリンがないのに無理に走らせようとしても走れません。それと同じで、エネルギーが回復していないのに学校に行かせようとしても行くことはできません。

そのため、エネルギーがたまり回復するのを待つことが一番大事なので、まずは家でごろごろしていても見守ることや、親の価値観を押し付けないことが大切です。

○質疑応答がありましたので一部掲載します。

・発達障害の人とそうでない人では対応に違いはありますか？

発達障害の人のひきこもりは特性をよく理解して、また二次障害がある人はそれをよく考慮して対応しないといけません。基本的には対応は変わらない。

○OLD ある中学 3 年生息子に対して

親としてこうしなさい、ああしなさいではなく、一緒に考えていくほうがよい。オンラインゲームを否定しない。リアルな友だちとのゲームでのやりとりは、むしろ接点を大切にしたい。無理さえて所属させたりどこかにつなげなくてもよい。どこにもつながらないことに不安を感じなくてもよい。本人には情報だけを伝えておく。

○低学年の子が不登校「どうして学校に行かなくてはいけないの?」と聞かれ説明に困る

子どもに納得させられたら学校に行ける、というわけでない。不安や緊張感、学校に楽しみがないなどから行けない。ずっと不登校が続くことはない。親の不安から「行ってほしい」という気持ちから子供が質問をする。行かすために納得させるために話す、ではなく、親の気持ちを伝えればよい。休んでよいという必要はない。学校とは繋がっておいて、いったんは「今日は休もうか」など気持ちを受け入れる。行かないなら行かないなりにいろいろ親子で仲良く過ごし、親御さんはどこかにつながって不安感をなくしていくことが大事。

パンジー各部活動報告 & 今後の予定



《 運 営 部 》

活 動 報 告

- 5月25日 ならサポートワークラボ第7回通常総会（ならサポートワークラボ）
- 6月12日 全国LD親の会第15回総会（Zoom）
- 6月29日 奈良県発達障害者支援センターでいあい連絡協議会（奈良県社会福祉センター）
- 7月21日 奈良県発達障害者支援地域協議会（心身障害者福祉センター）
- 7月30日 パンジー役員会議（Zoom）
- 8月28日 パンジー全体交流会（あすなら苑）
- 10月 1日 近畿ブロック研修会「不登校・引きこもりについて」（Zoom）
- 10月 8日 パンジー通信印刷・発行

今 後 の 予 定

- 10月29日 一般社団法人日本LD学会第31回大会（京都）
- 30日 （国立京都国際会館+Web）
- 11月13日 全国LD親の会第21回公開フォーラム
（さいたま市内会場、ライブ配信+オンデマンド配信）
- 11月20日 パンジー役員会議、全体交流会
- 11月27日 全国LD親の会第3回会員向け行政勉強会「放課後デイサービスの質的向上・不登校について（仮題）」
- 1月22日 全国LD親の会第4回会員向け行政勉強会「自閉症・情緒障害特別支援学級と通級による指導」
- 3月 5日 近畿ブロック研修会（Zoom）

《小 中 高 学 部》

活 動 報 告

- 6/8 サロン川西
- 7/13 サロン川西
- 9/14 サロン川西

今 後 の 予 定

- 10/11 サロン川西
- 11/2 県教育委員会特別支援推進室訪問
- 11/23 レクリエーション
（夏のレクリエーションが延期になり秋に実施
海遊館）
- 11/16 サロン川西
- 12/14 サロン川西

《 ア ド 部 》

活 動 報 告

なし

今 後 の 予 定

11月 行政訪問

《 ピ ア カ ン 》

今 後 の 予 定

会員の皆様へ
おしゃべりサロンは、コロナ禍のため活動を
休止しています。状況を見て再開できればと
考えています。

土曜会各部

土曜会は、特別支援教育士SVの大庭譲治先生が共に活動するソーシャルスキルトレーニング（SST）学習の場です。土曜会活動は、小学生の児童部、中高校生の青年部、18歳以上の成人部の3つの部に分かれて活動しています。

児童部・青年部

活動報告

5月14日 土曜会活動／福祉センター
6月11日 土曜会活動／福祉センター
7月9日 土曜会活動／福祉センター
8月リクエーション コロナ蔓延のため延期
9月10日 土曜会活動／福祉センター

今後の予定

10月8日 土曜会活動／福祉パーク
10月 リクエーション（8月延期分）
11月12日 土曜会活動／福祉センター
12月10日 クリスマス会／福祉センター
1月14日 土曜会活動／福祉センター
2月11日 土曜会活動／福祉センター
3月11日 土曜会活動／福祉センター
4月8日 土曜会活動／福祉センター

パパボウを募集しています!!

成人部

活動報告

5月21日土曜日、再び筒井駅「焼肉いちばん」で開催し、16名が参加しました。
宮崎さんが福岡から参加して頂きました。新会員 浦西さん、山木さんも参加しました。
新旧入り乱れて、大いに盛り上がりました。

今後の予定

オミクロン株コロナが、広がりそれに対応した4回目のワクチン接種が始まります。
次回は、11月19日（土）は開催します。
幹事は、畑さんです。乞うご期待！

～書籍紹介～

10月1日に行われた全国LD親の会近畿ブロック研修会の講師をしていただきました原田先生の著書です。近年、8050問題など大きな問題となっているひきこもり。発達障害を有する人が少なくない現状を踏まえ、ひきこもり相談の支援に求められる理解と実践について事例を基に丁寧に解説されています。

著者：原田豊

「支援者・家族のためのひきこもり相談支援実践ガイドブック
～8050問題、発達障害、ゲーム依存、地域包括、多様化する
ひきこもり支援～」

(福村出版、2020/10/5)

